

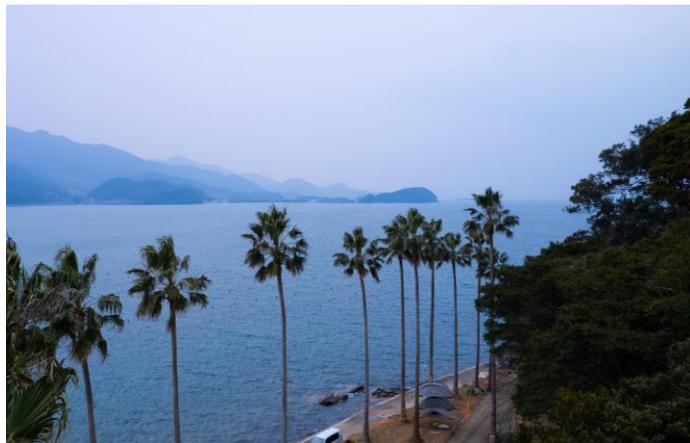
<グランピング施設 (3月19日オープン) >

まるで海に漂着した宇宙船のような白く輝く4つの“ドームテント”から海を見ていると、ここが日本であることを忘れてしまいます。

SDGsをテーマに「世界に1つしかない」お部屋は、「漂流物アートのお部屋 - Floating Art」、「青い海のお部屋 - Gran Blue」「バリ、神秘のお部屋 - Retreat ,Bali」「熱帯雨林のお部屋 - Rain Forest」の「世界に1つしかない」お部屋となっています。4つすべての部屋は波音が聞こえる海の真ん前にあります。美しい海と山を望む大自然360度を体験できる大パノラマビューとなっており、これまで味わったことのない世界観をお楽しみいただけます。



南向きの美しい海を望む海の大パノラマビューテント



ここは日本?と疑ってしまう南国ムード満点の景色



夜はテントから満天の星空をお楽しみ頂けます



「バリ、神秘のお部屋 - Retreat ,Bali」
バリ島には人と自然と神々の調和があるから、バリでの生活は人の心を癒します。自然と調和して神々と暮らすバリ島のリトリート、「思わずうたた寝をしたくなる」をテーマに究極のリラックスをもたらすバリのインテリアを揃えました。

「漂流物アートのお部屋」は漂流物や自然のもので空間を創っていく糸島在住の空間クリエイター Ucalyさん(左)が現在製作中です。ご期待ください。



<キャンプ施設 (3月19日オープン) >

<天空に泊まるー海と森の大パノラマ空中テント>
キャンプ場としてご利用いただけるのが、360度大自然一空中体験する“空中テント”をレンタルしてのご宿泊です。

美しい海と山を望む大自然。天空に泊まり、ハンモックのように心地よく揺れるテントから満点の星空を眺め、これまで味わったことのない世界観をお楽しみ下さい。



森と海の大パノラマビュー“空中テント”

<観光を楽しみながら、素晴らしい資源を守っていききたい>

全国にグランピング施設はたくさんできてますが、「ITOSHIMA SDGs Village地球MIRAI」は自然の中で眠り、自然を食し、自然と遊ぶことで、この地球の大切さ、生命の大切さを感じることができる宿泊施設で、他のどの施設とも一線を画し、SDGsをテーマとした施設になっています。施設のデザインは、九州大学大学院芸術工学研究院 井上滋樹教授の監修で、「Gifts from The Nature」=自然からの贈り物というテーマで、地域のアーティスト、環境活動家とつくられたお部屋です。みなさまと一緒に観光を楽しみながら、その素晴らしい資源を守っていく活動を進めていきたいと思っています。

ITOSHIMA SDGs Village 地球MIRAIの「こだわり」

私たちの「こだわり」を紹介します。

●食事：地産地消、フードロスを推進

糸島は野菜や果物、お米、お肉や海産物など、全てが取れる食の宝庫。地球MIRAIでは、地産地消をテーマに、地域の農家や牧場、肉屋や漁師さんらと連携し、フードロスに配慮したコースなどもご用意する予定です。施設の木材は、ほとんど福岡県産にしています。



航海気分を味わえる地産地消BBQ

●環境保全：海と山の環境保全活動の推進

景色として見ているととても綺麗な海ですが、ビーチを歩いていると沢山のごみが落ちています。山には竹が群生し生態系を壊しています。私たちは、絶滅危惧種のカブトガニや渡り鳥など多様な動植物が息づく糸島の海や山を守る活動を実施していきます。



隣接したビーチをいつまでも綺麗に

●食器：伝統工芸の支援とエコロジーを推進

コロナの影響により、展示会が開催できず経営危機に陥っている有田焼の窯元さんが多数あります。ピースウィンズ・ジャパン佐賀事務所の協力により、わずかに変色などがあるため廃棄処分になる商品を譲り受け、お客様に伝統工芸品を使用していただく企画が実現しました。



生きた森を再生、有効活用してメンマにも

●雇用：地域密着、ダイバーシティ雇用の促進

「地域の方々とVillageを作っていきたい」との想いから、建築、土木、水道、電気工事は、地元の70歳以上の方々と共に作っています。また、フルタイムでは働くことが困難な主婦の方々の採用も、積極的に行っていきます。



●教育：子どもたちに自然に触れ合う機会を提供したい

地域の漁師さん、大工さんなどを講師として招いて、「自然と遊ぶ」をテーマにおじいちゃん（達人）から教えてもらう、とっても楽しい教育プログラムを推進していきます。



有田焼を使って頂くことで窯元を支援
写真は坂本窯陶工房の作品



施設監修を担当する九州大学大学院・井上教授

■ 監修者からのメッセージ

ITOSHIMA SDGs Village 地球MIRAIが、自治体、大学、企業、NPO、地域の人など、誰もが参加できるSDGsのプラットフォームになり九州からSDGsの具体的なカタチを生み出してけると良いと思っています。この活動を広げていくために、メディアの皆さまにご取材頂ければ幸いです。

施設監修/デザイン：井上滋樹 九州大学大学院芸術工学研究院 教授
九州SDGs経営推進フォーラム（九州経済産業局）会長
全国SDGsプラットフォーム連絡協議会（内閣府）副会長

株式会社トキメクデザイン 代表取締役・井上知子

■プロフィール

福岡県糸島市在住の井上知子と申します。
糸島を舞台にして、SDGs（持続可能な開発目標）を推進させ「未来の子どもたちに、今のままの地球をわたしたい」を理念として、糸島市二丈の海に面した自然豊かな場所に「ITOSHIMA SDGs Village 計画」をスタートさせることになり、その第一弾として、2022年3月に「地球MIRAIグランピング施設」をオープンさせることになりました。

私自身、糸島へ移住する前は横浜でコンクリートジャングルに住み、満員電車で通勤する生活を送っていましたが、結婚・出産を機に都会生活に終止符を打ち、糸島の自然の美しさと人々の温かさに触れ、2018年に定住することを決意しました。

そして、かねてから温めていた企画、SDGsの目標達成のために社会事業を起こしたいという構想を実現するため、昨年7月に、社会貢献型会社（株）トキメクデザインを創業し、銀行から融資を受け、10年間のOL生活で貯めてきた貯金を全額投入し、計画をスタートさせました。

流木アートと漂流物を再利用するなどエコなグランピング施設「地球MIRAI」は自然の中で眠り、自然を食し、自然と遊ぶことで、この地球の大切さ、生命の大切さを感じることができる場所です。そして今後、飲食や教育事業も展開していきます。

今の暮らしをSDGs視点で原点から見直し、暮らし方、働き方、地域、自然との共生の在り方など、アフターコロナの社会に向けて「これからの生き方」を生み出し、提案して参ります。

そして「ITOSHIMA SDGs Village 地球MIRAI」の想いに共有して頂ける皆様と共に、SDGsの具体的なアクションをこの場所で作り、学び合い、糸島から九州、全国、そして世界へ広げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年2月10日 井上知子



施設概要

施設名：ITOSHIMA SDGs Village 「地球MIRAI」 住所：福岡県糸島市二丈松末2002-1

※メディア向け内覧会を3/18（金）午前10時30分からを予定しております。

ご案内状は詳細プログラム決定後にお送りします。



施設入り口の石碑が目印です



HP



instagram



TikTok

車でお越しの際、ナビで表示されない場合がございます。深江漁港を目指して、左に海を見ながら走ると見えてくる椰子の木が目印です。道が細いのでご注意ください。

